

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
家庭	家庭基礎	1	2	必修

<b>到達目標</b>	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
-------------	--

### 年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭基礎を学ぶにあたって</li> <li>自分らしい人生をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯発達の視点から、家庭科を学ぶ意義を理解し、家族や家庭生活の在り方について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を見通した人生と、青年期の課題を考える。</li> </ul>
1学期期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもと共に育つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの育つ力を理解する。</li> <li>親となった時、子どもとどう関わり育んでいくかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児の身体的、精神的特長を理解する。</li> </ul>
2学期中間	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣生活をつくる (被服実習)</li> <li>高齢社会を生きる</li> <li>共に生き、共に支える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣食に関する基礎的な技術を身につけ、知識や技術の定着を図る。</li> <li>高齢者の身体的、精神的特長を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだことを家庭で実践し、生活を改善する。</li> <li>高齢者や、社会環境の変化による課題を考える。</li> </ul>
2学期期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>食生活をつくる (調理実習)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立した生活を営むために必要な食の基礎的な知識を身につけ、知識や技術の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識に基づいた、基礎的な技術を身につける。</li> </ul>
学年末	<ul style="list-style-type: none"> <li>住生活をつくる</li> <li>経済生活を営む</li> <li>生活を設計する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭経済の現状、消費生活の課題を理解する。生涯を見通した家計管理や計画について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の変化に対応し主体的な消費者として選択できるようにする。</li> </ul>

<b>評価方法と評価のポイント</b>	学期ごとの筆記テストで知識の定着、発表や実習で意欲・態度を、作品で技能・表現を評価する。グループでの協力、自己評価、プリント、課題等の提出状況も考慮する。
---------------------	---

### 教科からのアドバイス

教科で学んだことを家庭で予習・復習し、自分のものとする。特に被服や食物の実習は練習することで上達するので、予習・復習を心がける。日頃から生活を科学的な視点でとらえ、工夫するようにする。生活の中の課題を見つけ、充実するよう改善に取り組むこと。